

日付	10/27 (火)	人数	25人			
参加者	宍粟市商工会（役員）					
主な意見						
<b>(良さを伝える・残す)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度の新規採用に西宮市と加古川市から採用した。定着してもらえるよう、宍粟のいいところを伝えていこうと考えている。</li> <li>揖保川と千種川の清流は、子どもたちの良い自然体験の場となっている。こうした多自然地域ならでは良さを引き継いでいかなければならない。</li> </ul>						
<b>(地域の強みを活かす)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>定住者を確保するのは難しいので、交流人口を増やす取り組みが必要。そのためにも田舎の地域資源（ゴルフやスキーなど）を活かすことが求められている。</li> </ul>						
<b>(人口減少・後継者不足・労働者不足)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>地場産業を守っていかなければならない。30年前にUターンした際は町に勢いがあったが現状は厳しく、子供に対して帰って家業を継いでほしいと言えない現状。</li> <li>要介護者のいる世帯の女性に負担がかかっている。女性が家庭に埋もれないよう、介護や福祉を充実させてほしい。</li> <li>宍粟市の教育の機会と質の確保ができるか不安を覚えている。新ビジョンに教育をしっかり盛り込んで欲しい。</li> </ul>						
<b>(移動手段の確保)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の公共交通機関はバスしかないため、コミュニティバスがなくならないように維持して欲しい。また、バスの運行システムの利便性を高め、多くの人が利用できる仕組みへの改善も必要。</li> </ul>						